

▶▶▶ 読解力がUPする！

2012年10月刊行予定

新訂版  
**倫理 資料集**

ISBN978-4-389-21642-9

B5判・292頁  
フルカラー  
予価 850円(税別)

テーマ学習 合理化と民主社会

われわれの生きる社会は民主制の社会であり、われわれは一人ひとり、法のもと、平等に様々な権利をもち、国民の義務を果たしながら、自由で平和な社会を享受している。こうした現代の民主社会の考え方の特徴は何か、西欧社会に焦点を絞って考えてみよう。

近代以前の社会においては、人による支配が基礎となっており、それは長老制や家長制、封建制といった伝統的な支配であり、伝統の神聖さとそのことによって権威を与えられ得た者の正当性に基づいた支配である。しかし、これらはいずれも人による恣意的な統治であったため、統治者の性格や気分、あるいは宗教的な熱狂によって、極めて恣意的になり、非合理であり、支配者層のための政治として民衆には不平等であり、結果として多くの人々の自由や財産を奪うことになった例が少なくない。しかし、支配者の継続性の強化という観点でいえば、どの政治制度にも一定の合理性がある。例えば長老制の社会では、伝統的という理由によって正当性をもたせており、合理的である。また、恣意性の強い、優れたリーダーシップによるカリスマ、例えばカエサルやアレクサンドロスなどに支配された社会は、リーダーの目標達成という意味で合理的な社会であった。

封建制や身分制の場合にも同様の正当性が見られ、合理的である。しかも西欧の身分制社会においては、国王の政治体制に、常備軍と家産官僚制が加わって、より強固な支配基盤となっていた。こうした政治制度の強化は、合理的である。西欧社会の支配は、合理的であったともいえる。で、革命以前のフランスにおいては、身分制社会の中で、多くの民衆が理不尽な抑圧に苦しんできた。それは、正義の観点から見て不合理なことだと考えた民衆は、社会契約説を理論的な根拠としつつ、自由で平等な社会こそ、合理的で、正しい社会と信じ、市民のための社会の樹立を目標に革命をおこした。こうして生まれた西欧市民社会においては、個人の自由、平等、生命や財産を守るため、人民主権のもと、政治権力の均衡をはかる三権分立の制度が、そうした社会を代表するリーダーを選出する上で、伝統によらず、個人の力としての力によらない、主権者である人民が選出する大衆制などを構築したのである。

現代の民主制の基本的な考え方は、正義的なシステムということに大きな特徴がある。しかし、この支配形態は、システムとしての性や効率は高いものの、個人の自由、平等を守るという近代民主主義の初心に戻る民主主義としては、公共の福祉の実現度や、国家レベルの正義との調和の観点から見ていわざるを得ない。良き君主制のほうが衆民主制よりも優れているという言い分も成り立つ。衆愚制は、システムという手段であり、社会善を遂行できない政治となってしまう。主権性を損なわせる。

真の民主主義は、各人の正義に基づく行なり、一人の正義が社会全体の善となる理想社会で、私たちは、主体的に、よりよく生きるべきである。

テーマ学習で  
資料読解力を  
育てる

- センター試験突破の決め手は、テーマごとの理解力！
- センター試験のトレンドを把握した斬新なテーマを、分かりやすく解説！
- 「読解力プラスα」でセンター試験問題のリード文対応の読解力をパワーアップ！

【テーマ学習 おもなテーマ】

- ★恋愛と友情
- ★ニヒリズムと二極化
- ★愛と憎しみと他者
- ★人間にとっての信仰・希望・救い
- ★外来思想の受容
- ★近代化と自由
- ★科学と真理
- ★人間性と自由・道徳
- ★どうして遠くの貧しい人を助けなければならぬのか？
- ★老いと家族とケア

読解力 プラス α

「合理化と民主社会」の内

①西欧の社会は合理化の最も適当なものを次の①～④から一つ選べ。

②西欧の社会は合理化の歴史であり、その過程で、現代の民主制につながる近代市民社会が成立した。その社会の成立根拠には、自由、平等などの正義を守るという精神があり、それを踏まながら、社会全体の善を実現すべきである。

③西欧の社会は合理化の歴史であり、長老制などのシステムの合理性も、カリスマによる支配の合理性も、一定の合理的な支配形態はそれぞれに良さがあ

り、一定の合理的な支配形態はそれぞれに良さがあ、その時代の社会善を映した

解答：③

資料集活用プリント(例)(教師用)

テーマ学習「合理化と民主社会」(資料集189ページ)

われわれの生きる社会は民主制の社会であり、われわれは一人ひとり、法のもと、平等に様々な権利をもち、国民の義務を果たしながら、自由で平和な社会を享受している。こうした現代の民主社会の考え方の特徴は何か、西欧社会に焦点を絞って考えてみよう。

近代以前の社会においては、人による支配が基礎となっており、それは長老制や家長制、封建制といった伝統的な支配であり、伝統の神聖さとそのことによって権威を与えられ得た者の正当性に基づいた支配である。しかし、これらはいずれも人による恣意的な統治であったため、統治者の性格や気分、あるいは宗教的な熱狂によって、極めて恣意的になり、非合理であり、支配者層のための政治として多くの人々の自由や財産を奪うことになった例が少なくない。しかし、支配者の継続性の強化という観点でいえば、どの政治制度にも一定の合理性がある。例えば長老制の社会では、伝統的という理由によって正当性をもたせており、合理的である。また、恣意性の強い、優れたリーダーシップによるカリスマ、例えばカエサルやアレクサンドロスなどに支配された社会は、リーダーの目標達成という意味で合理的な社会であった。

封建制や身分制の場合にも同様の正当性が見られ、合理的である。しかも西欧の身分制社会においては、国王の政治体制に、常備軍と家産官僚制が加わって、より強固な支配基盤となっていた。こうした政治制度の強化は、合理的である。西欧社会の支配は、合理的であったともいえる。で、革命以前のフランスにおいては、身分制社会の中で、多くの民衆が理不尽な抑圧に苦しんできた。それは、正義の観点から見て不合理なことだと考えた民衆は、社会契約説を理論的な根拠としつつ、自由で平等な社会こそ、合理的で、正しい社会と信じ、市民のための社会の樹立を目標に革命をおこした。こうして生まれた西欧市民社会においては、個人の自由、平等、生命や財産を守るため、人民主権のもと、政治権力の均衡をはかる三権分立の制度が、そうした社会を代表するリーダーを選出する上で、伝統によらず、個人の力としての力によらない、主権者である人民が選出する大衆制などを構築したのである。

正当の支配の類型	支配の正当性の根拠	例	※
伝統的支配	昔から存在している秩序の神聖性への信仰	長老制、家長制、封建制、身分制	※封建制、世西欧どが優先。※日本で原始ギリに、
カリスマ的支配	支配者個人の天与の資質に対する被支配者の帰依の感情	官職カリスマ(ローマ教皇)、世襲カリスマ(カエサルの息子アウグストゥス)、個人カリスマ(イエス)など	※官制、れた、よって
合法的支配	形式的に正しい手続きによって定められた制定規則	最も純粋な型～官僚制の支配	※国家、公共団体のほか、資

官制に見られる主な特徴

○ 家臣が増え、領地(荘)なるなど個人的な計算が難しくなってきた。



**清水書院**

清水書院

〈本社〉  
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 3-11-6  
電話 03-5213-7151 (代表)

〈支社〉  
〒553-0003 大阪市福島区福島 2-10-19-203  
電話 06-6131-6226

〈北海道サービスセンター〉  
〒061-3214 北海道石狩市花川北四条 4-114  
電話 0133-74-4174

ホームページ <http://www.shimizushoin.co.jp/>

テーマ学習を活用する  
授業プリント例(テーマ「合理化と民主社会」を別紙にてご用意しています。

プリント例は清水書院ホームページでも公開中 ▶ <http://www.shimizushoin.co.jp/>

※資料集の内容は変更される場合があります。

